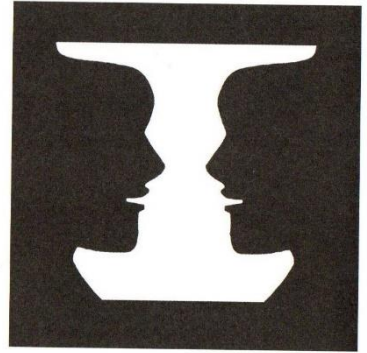


様々なものの見方

右の図をよく見てみてください。

何か見えてきたでしょうか？器のように見える人もいれば、2人の人の横顔に見える人もいるかもしれません。（よくわからない人は少し遠くから見てみてください）

これは「多義図形」、つまり、1つの同じ図形であるにも関わらず、色々な見え方がある図形の代表的な図で「ルビンの壺」と呼ばれる図形です。白と黒のどちらを背景と見るかによって見え方が変わってきます。なんだか不思議ですね。（もっといろいろな多義図形を見たい人は、「多義図形」、「だまし絵」などのキーワードで調べてみてください）



多義図形とは少し違うかもしれませんが、物事には一つだけでなく様々な側面があるものです。

例えば、電車に乗っている時、席が空いていなくて座れなかったとしたら、みなさんはどのように考えますか？



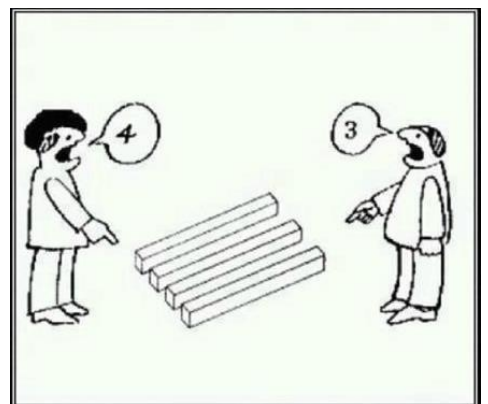
「電車が混む時間帯だから仕方がないな」と思う人、
「座りたいのに、全然空かなくて最悪だ」と思う人、
「立っていたら運動になるかな」と思う人…
「みんな、何かしらで疲れているのかな」と思う人…

感じ方は人それぞれですし、正解もありません。気持ちを変えたいと思う人は、別の見方がないか、考えてもいいかもしれませんね。

感じ方にはその人の価値観、他人に対しての思い、その時の気持ちなどさまざまなものが影響しています。悩んでいるときは一つの見方やその時の気持ちが強くなって、他の見方が思いつかないこともよくあることです。

先ほどの図や右図のように、同じものでも相手には違うように見えていることもあるかもしれません。

人と話すことで他の見方を考えてみたい人や、感じ方について話してみたい人はカウンセラーと話してみてくださいね。



(出典 : USA Science & Engineering)